

2012 Japan National Team Report "sailor"



報告者	クラブ KMC横浜ジュニアヨットクラブ 学年 中3 氏名 高山 颯太		
大会名	JODA ASIAN CHAMPIONSHIP 2013		
開催地	葉山		
大会期間	8/22 ~ 8/30		
セールNo	JPN - 3230	最終順位	31

- 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中(mame-t@silverzaq.jp)までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接見して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は比較的高く、半そでTシャツに、海パンで乗っていました。雨が降っていたときは、パドジャケを着ていました。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	木部船側から左へ伸ばすコースが良かったと思う。左右両方に、ブローは入っていたので、振れタックが大事だった。
セッティングで注意したこと	風の強弱に合わせて、スプリットホールを細めに調節していました。 スピード重視のセッティングをしていました。
セーリングで注意したこと	波にぶつかったときにスピードが落ちないように、シートトリムに、一番気を使った。
海上で練習したこと	スピードチェック、タックなどのハンドリング

実際のスベリはどうでしたか？	良い位置でスタートを切れたときは、良い風で走れた。 振れにも敏感に対応できた。
スタートは、どうでしたか？	大会最後の方は、本部船のすぐ横でポジション争いをして、良いスタートができて、上位を走れた。
コース戦略はどうでしたか？	真ん中左側を走っていて、良かった。
自分より上位の選手との違いは？	スタートを全レースにおいて、チャレンジしていて、成功していた。
国内の練習で役立ったこと	スピードと波のかわし方
国内の練習で足りなかったこと	スタートでチャレンジも毎回して行くという、気持ち
印象に残った外国選手は？	SIN 118 SIN 117 SIN 112
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	レースをする前の気持ちの持っていていき方について考えるようになった。
今後の課題と目標は？	卒業なのでないです
JODA への要望	
その他	3年間 ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会